



新春の浅草仲見世 PHOTO by S.YAMAOKA

ごあいさつ「新年を迎えて」
代表取締役社長 川西勝三

2007年度Yamato研修会を開催



製品特集

超薄形4点マルチ台はかり PL-MLC9シリーズ
はかり付ストレッチャー
DP-7300PW(風袋表示タイプ)/DP-7310PW(BMI表示タイプ)
異物混入レス高能力パッカー FNL-308CC
データウェイ ADW-F518SV

国内トピックス

JAPANPACK 2007
川西社長 3年連続国体入賞!



海外トピックス

PMMI2007





代表取締役社長
川西 勝三

「新年を迎えて」

あけましておめでとうございます。

本年は、「成長」をキーワードとした新しい中期経営計画の最終年度となります。おかげさまで当社は06年度、07年度と順調に成長を遂げ、08年度の新年にあたり、誇りと希望を持って、チャレンジという気持ちを新たにしておりますが、08年度の目標を達成し、今後さらに当社が「持続的な成長」を実現していくために、企業としてどうあるべきか、経営者としてどうあるべきかについての「永遠なる経営理念」ともいべき方針があります。

1 継続性の高い企業になる。

常に10年先のビジネスを意識する。

- ・革新技術によって、社会と社員に満足を与える。
- ・革新技術によって、新しいマーケットを創造し、シェアを拡大する。
- ・革新技術によって、「販売革新」「開発・生産・サービス革新」「企業構造革新」を起こす。

財務構造および収益構造を革新する。

- ・実質的借入金ゼロを実現し、経常利益率拡大をはかる。

人材の能力主義の実施と人材高度化を実現する。

- ・経営者、社員の業務は70%を現状業務、30%を将来業務とする。特に管理職については、将来業務に携わらざる者は管理職の価値を失うものである。

社員待遇・株主待遇について良い方向性を確保する。

- ・2年きざみでベクトルアップを目指す。

2 革新技術によって、景気に左右されない企業を実現する。

流れに沿い流れに逆らえる、自らスクルーで進む水草の如き企業となる。

3 革新技術によって、世界に誇れる国際企業化を実現する。

企業の国際化。

社員の国際人化。

4 世界No.1～No.2の技術で売上の70%を確保する。

5 革新技術・ものづくりのトップダウン体制をつくる。

社長より末端管理職に至るまで、上級職が手本を示す。

社長を先頭に戦後のベンチャー企業「松下」「本田」などの先人をライバルとする。

6 企業人としても個人としてもエリート性を高め、自らの存在価値を高める。

社長より末端社員に至るまで、常に、革新技術を追い求め、研究者の心を失わない。

国際人として、優れた文化人の素養を持つ。

この方針を実現するため、社長以下社員全員が、革新技術を軸にして、何かにつけ、強い情熱とこだわりを持って、人が見えないところでの努力、基本動作に忠実に当たり前のことをきっちり実行する力で、「狙った獲物、目標は逃がさない」に挑戦し、常に将来を見据えた企業づくりに貢献し続けて参ります。

Yamato グループの力を結集して、次の新たな飛躍を目指しますので、本年も、なお一層のご支援とご協力のほど、何卒よろしく願い申し上げます。

2008年元旦

2007年度 Yamato 研修会を開催

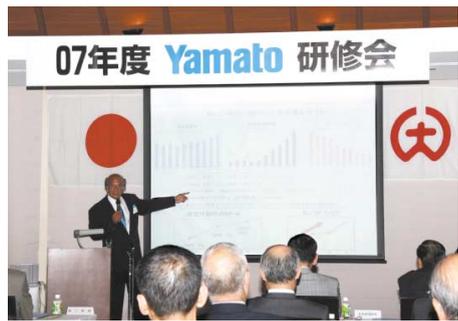
2007年度 **Yamato** 研修会を、全国の有力販売店様26社のご参加を賜り、9月4日に神戸北野クラブ・ソラにて開催致しました。

開会宣言・社員紹介の後、川西社長より2006年度売上拡大にご尽力頂いた販売店様に心よりの感謝を含め、感謝状と記念品を贈呈させて頂きました。

そしてご出席各社のご代表として、株式会社王衡 齋藤社長様より謝辞を頂きました。

また、特別表彰の各賞につきましても、2006年度弊社の営業政策の展開と売上の向上に最も顕著な貢献を頂いた販売店様に対し、感謝を含めて表彰させて頂きました。

このあと川西社長より、今後もNo.1商品戦略通じてビジネスチャンスを創造し続けていく **Yamato** の企業姿勢について発表致しました。



次に長谷川常務取締役より、2007年度普通はかり事業部方針を下記の通り発表致しました。

「普通はかり事業部の基本方針は、21世紀に生き残り、勝ち続けるために、中期的には新しい計量機とそのシステム(ワイヤレス通信と最適制御)及び健康管理関連機器分野の技術、サービスを進化し、全社戦略並びに中期経営ビジョンに基づき、攻めのグローバル戦略(世界戦略)を軸においた営業改革を推進していく」

新商品展示コーナーでは、「That's Yamato デジタル通信(無線)革命」「新商品による新ビジネスの創造」をテーマに新形TDW/DP・UDS/PL・MLC/健康機器/産機・自動機器製品の5つのコーナーに分けてそれぞれの新製品を展示発表致しました。

研修会の後、北野クラブ・ソラ内のディナーショー会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会を開催致しました。

会場では、Yamato Music Festival Vol.7と題し、「川西勝三とそのバンド」ウォルター・クラークをお迎えし、ジャズの演奏を楽しんで頂き、大変な盛り上がりの内に終わりました。

翌5日は、ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフファンあこがれの名門コース「広野ゴルフ倶楽部」でのプレーと、一方、観光組は、ものづくりの現場として伏見の大倉記念館、京町家堀野記念館を、さらに、幕末の志士坂本龍馬の定宿で寺田屋騒動の舞台となった寺田屋の見学をお楽しみ頂くと同時にお互いの親睦を深めて頂きました。



2日間にわたる研修会・懇親会・観光を無事終了することが出来ました事は、ご参加頂きました皆様のご協力の賜と深く感謝致しております。

計量器は産業設備機器として様々な目的・用途で使用されていますが、市場が顧客中心市場に変化していることから、特定の機能・仕様の商品だけを販売しているのでは、顧客の要求に合致しないことがあります。このような要求に対応すべく、各種指示計と計量部の豊富な組み合わせが可能な汎用システムタイプとして、超薄形のPL-MLC9シリーズを新発売いたしました。

特長

- 高さ85mm(600kg 1200×1200mmサイズ)の超薄形設計。
- 既設のピットに合わせた載台寸法を10mm単位で対応できます。(載台寸法の縦横比は3:1まで)
- 電池仕様、AC電源仕様など各種指示計との組み合わせが自由に行えるコンポーネント仕様です。
- 食品工場などの使用に対応できるようステンレス仕様も準備。(ロードセルもSUS製)
- 水平調節脚、キャスター、ハンドル、フリーローラ、指示計スタンドなど豊富なオプションを準備。
- ひょう量は600kg ~ 5tまで対応可能、国家検定付。(5tタイプは近日発売予定)

オプション

- ・水平調節脚 ・リフト用ベース ・キャスター(自由車輪2個 + スーパー付固定車輪2個) ひょう量1500kgまでの対応
- ・手押し取っ手 ・フリーローラ ・スロープ ・指示計一体形スタンド ・分離スタンド



組合せ自由自在



標準仕様はEDI-352の指示計が付きま。

仕様

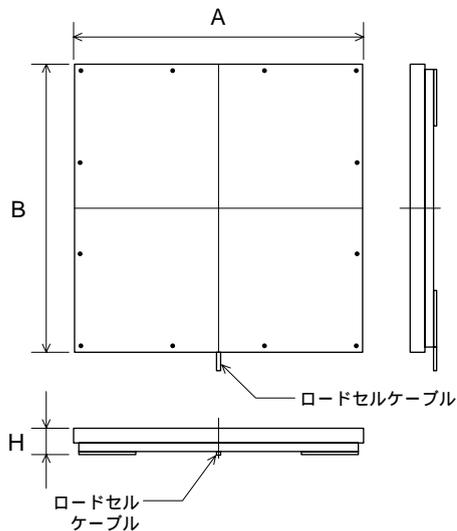
標準寸法タイプ

ひょう量(kg)	目量(kg)	標準載台寸法(A×Bmm)	高さ(Hmm)	ステンレス対応
600	0.2	1000×1000 1200×1200	85	
		1500×1500	120	
1000	0.5	1000×1000 1200×1200	120	
		1500×1500 1200×1800		
		1500×1800		
1500	0.5	1000×1000 1200×1200	120	
		1500×1500 1200×1800 1500×1800	140	
2000	1	1000×1000 1200×1200	120	
		1500×1500 1200×1800 1500×1800	140	
3000	1	1800×1800 2000×2000	160	
5000	2	1800×1800 2000×2000	未定	

10mm単位フリー寸法タイプ

ひょう量(kg)	目量(kg)	標準載台寸法(mm)		高さ(Hmm)	ステンレス対応
		A	B		
600	0.2	900 ~ 1200	900 ~ 1200	85	
		1210 ~ 1500	1210 ~ 1500	120	
1000	0.5	900 ~ 2000	900 ~ 2000	120	
		900 ~ 1200	900 ~ 1200	120	
1500	0.5	1210 ~ 2000	1210 ~ 2000	140	
		1000 ~ 1200	1000 ~ 1200	120	
2000	1	1210 ~ 2000	1210 ~ 2000	140	
		1000 ~ 2000	1000 ~ 2000	160	
3000	1	1000 ~ 2000	160		
5000	2	1000 ~ 2000	未定		

10mm単位フリー寸法タイプの横寸法(A)×縦寸法(B)の比は最大1:3までとなります。



新発売!!

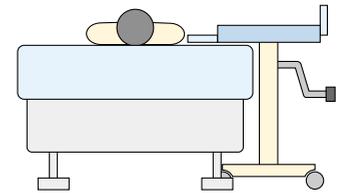
はかり付ストレッチャー DP-7300PW/DP-7310PW

(風袋表示タイプ)

(BMI表示タイプ)

体重計の需要は、病院・クリニック・学校・検診施設・介護保険施設等多岐にわたっております。特に、高齢者が入所する介護保険施設では、平成17年10月の介護保険法一部改正によりNST(栄養サポートチーム)活動における体重測定は不可欠なものとなり、新たな市場となっております。しかしながら、寝たきり患者や重傷者、透析施設での体重測定をするためのストレッチャー形の体重計は他社メーカーの独占状態にあるのが現状です。

そこで**Yamato**は他社に無い新検則対応、BMI表示機能付、ベッドを重ねる(図1)ことができる高付加価値のはかり付ストレッチャーを2008年3月10日発売いたします。



(図1)

特長

ストレッチャーに計量機能を搭載(新検則適合検定品)

ひょう量160kg,目量100g(拡張表示使用時20gで表示)

外付けプリンタを標準装備し、日付・時刻・質量(体重)値・風袋値・BMI値(肥満判定)

またはローレル指数・身長(DP-7310PW)を記録に残せます。

キャスター、ブレーキ付キャスターには方向規制がついており、直進する時に便利です。

ハンドル操作で簡単に昇降させることができます。

大きな面構造の手すり(サイドレール)付で移動時も安心です。

マクラ、ガードル架、ポンベ取付台、アンダーバック、固定脚をオプションにて準備。

電源は電池またはACアダプタの2Way仕様、電池寿命は連続200時間の省エネ設計です。

異物混入レス高能力パッカー FNL-308CC

特長

最適大投入制御により高速計量を実現

従来は、無段階サーボ方式により700B/Hの能力が最大でしたが、新たに開発した最適大投入方式の採用により1200B/Hの高速計量が可能になりました。

完全異物混入レス構造によるクリーンな計量とメンテナンス性向上を実現

摺動部を外部に配置した二重構造の計量室により、投入部および排出部の摺動摩擦粉を製品に混入させないクリーンな計量とメンテナンス性向上を実現しました。

タッチパネル式コントローラにより、より簡単な調整作業を実現

FEC700+タッチパネルにより、計量中の重量波形をモニタ可能となり調整作業の簡素化を実現しました。

主仕様

型式	FNL-308CC
測定範囲	10kg~30kg
充填精度	±0.1%
能力	800~1200B/H(1連当たり)
用途	樹脂ペレット、豆類、精米、肥料等 (150μm以上の流動性の良いもの)



データウェイ ADW-F518SV

Yamatoは、「包装機の最大能力を容易に引き出させる、シンプルな計量機」という開発コンセプト(F1コンセプト)のもと、組合せはかりデータウェイ F1シリーズを開発してまいりました。今回紹介させていただく新機種・ADW-F518SVは、スナック菓子等の包装に多く使用されている縦型包装機に最適な供給を提供いたします。

18連計量ヘッド F1シリーズADW-F518SV

ADW-F518SVは、大和製衡(株)の特許であるダブルシフト・トリプルシフト運転と、集合シュートを2重構造とすることにより2つの独立排出経路を有するという F1シリーズのコンセプトを融合させ、高性能化を実現しています。

本機の特徴としては、独立排出経路と合わせて被計量物を包装機の中心へと導くことのできる3個式集合ゲートを採用しています。計量機下部の中央に配置された集合ゲートは、真下に落下させる両開きとし、左右の集合ゲートは中心側に排出可能となる片開きとなっています。(下図右側)

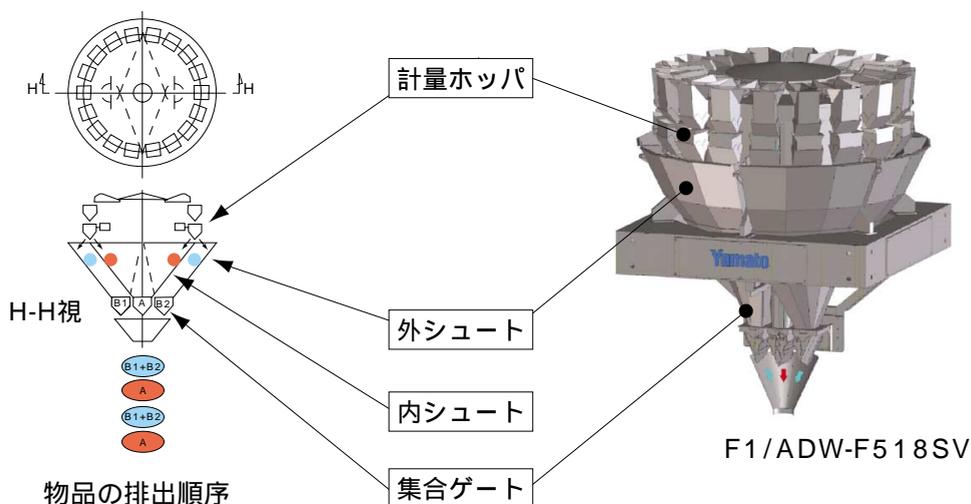
組合せ計量後の移送動作を順に追って説明しますと次のようになります。

まず、計量機下部に配置された中央の集合ゲート(A)には、複数の計量ホツパの内ゲートから排出された被計量物が内側のシュートを通り、最短経路で集められます。

そして、左右の集合ゲート(B1,B2)には、計量ホツパの外ゲートから排出された被計量物($B1+B2$ =目標重量)が左右外側のシュートを通り最短経路で集められます。

次に計量機からの排出ですが、計量機の中央に配置された集合ゲート(A)からは、包装機の真上から被計量物をかたまりとして包装機へと排出します。また、左右の集合ゲート(B1,B2)からは放物線を描きながら包装機の中心に向かって被計量物を排出しますので余分な経路を通ることなく安定して排出(包装機へ供給)されます。

これらの技術を集約させ F1シリーズADW-F518SVでは、ポテトチップス60gを210回/分の速度で包装機がシール可能なプロダクトウィンドウを確保しながら排出することができます。



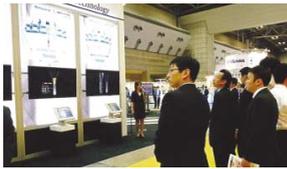
	最大組合せ容量	計量範囲	最大被計量物長さ	最大計量速度	秤連数
ADW-F518SV	3000ml	8 ~ 1000g	80mm	210wpm	18連

2007日本国際包装機械展(JAPANPACK 2007)が10月16日から20日までの5日間、東京有明の東京国際展示場(東京ビッグサイト)において盛大に開催されました。

今回のJAPANPACK 2007は「地球にやさしく人にやさしく」をテーマに内外24の国から375社の出品を得、世界最大クラスの国際包装展の1つとして、アジアはもとより世界的に注目を集めました。5日間の会期中には日本国内だけでなく、海外も含め約12万6000人が来場され、当社のブースは約1000名の見学者、来場者で賑わいました。

Yamato は展示のテーマとして「革新的計量技術によるトータルソリューション」を掲げ、組合せはかり「データウェイ F1フロンティア」を中心に、「包装機」「金検一体形オートチェッカ」「ケースパッカー」による計量包装箱詰ラインの実演展示、「高速オートチェッカ」「新形X線異物検査装置」「金属検出機」の単体展示等を行いました。また、「次世代形トラックスケール」の小形モデルを使用した実演展示を、さらに、「新形卓上データウェイ」の実演展示や、「完全防水形デジタルはかり」の展示を行いました。

展示会場までのメイン通路となる連絡ブリッジ(動く歩道脇)に、20枚の広告パネルによる F1フロンティアを中心としたコンセプト展示を行うことにより、展示会場に向かわれるお客様に対し、**Yamato**と**Dataweigh**  **SIGMA F1-Frontier** の知名度をより一層高めることができました。



一方ブースにおきましては、正面に5台の大形モニタを据え、組合せはかり「データウェイ F1フロンティア」のコンセプトである「高速運転とプロダクトウインドウの確保」「多点排出機能」等を訴求するために、被計量物ごとに動画で検証するという画期的な展示方法を行い、お客様の好評を博しました。さらに、F1フロンティアを包装機と連動し実運転させ、高速計量が難しいとされるポテトチップスを、100回/分の高能力で計量するデモンストレーションも行い注目を集めました。

これらの展示により、「データウェイ F1フロンティア」の使用により、包装機側での包装不良の大幅な削減・生産効率の向上が見込めるメリットを、来場された方々に対し十分にご理解賜ることができたと感じております。

各展示コーナーではお客様の熱心な質問に営業部員・技術部員がそれぞれ応対し、技術の**Yamato**をアピールすることができました。会期中に多数のお客様から頂戴致しました貴重なご意見、情報をお預かりし、今後の商品企画また営業活動に活かしていきたいと考えております。最後になりましたが、ご多忙の折ご来場頂きましたお客様、また関係者各位に、深くお礼申し上げます。



川西社長 3年連続国体入賞!

2007年10月5日、秋田県「かくののだて特設馬術競技場」で開催されました第62回国民体育大会「馬場馬術競技」におきまして、当社社長の川西勝三が7位入賞を果たしました。



本大会で3年連続国体入賞を最高齢で続けていることになりましたが、この実績を通して、社員のチャレンジ精神を常に高揚し、また、高い目標を持ちその目標を必達する“狙った獲物は逃がさない”社風を根付かせようと自ら挑戦し続けております。

2007年10月15日から17日の3日間、アメリカ・ネバダ州ラスベガスのラスベガスコンベンションセンターにおいて“Pack Expo 2007(PMMI)”が開催されました。

この展示会は毎年開かれているアメリカ最大の展示会で、昨年はシカゴで開催されたためラスベガスでの開催は2年振りです。3日間の会期中に約2万4千人の来場者があり、2005年の前回開催時に比べアメリカ外の来客が35%近く伸び、国際的にも認知度が高まっている展示会と言えます。

開催初日の午前はやや来場者の出足が鈍い感もありましたが、昼前後には多くのブースが来客で賑わい、**Yamato** ブースもその例外ではありませんでした。その勢いは翌日も続き、当社ブースには3日間で100人からのお客様にご来訪頂くことができました。

これは今回新たにお会いさせて頂いた方のみの数字ですので、既存のお客様を含め、以前より当社と懇意にして頂いている皆様のご来訪を含めると、その数字はかなりのものです。そしてそれらのお客様の中には大手企業様も多く、**Yamato** とその製品に対するご来場者の皆様の関心の高さを感じさせられました。中には当社ブースにて展示中の製品を見られたお客様とその場で商談が進み、即日販売となるケースもありました。また、当社の最新機種であるデータウェイ F1フロンティアについても多くの引き合いを頂くことができました。F1フロンティアは、包装機の性能を最大限に引き出し、計量・包装のスピードアップと包装工程でのシール不良の低減を実現した当社の最新モデルです。また、F1シリーズADW-F518SV、アルファシリーズADW-520A、多点排出装置の品揃えのシンプルなブース構成でしたが、プラズマディスプレイでF1シリーズのアピールポイントである品物のキレを、様々な製品での映像で見て頂くことにより、様々な業種のお客様の興味を惹くことができましたし、得意先の包装機会社様に**Yamato**製品を多数展示頂くことによって**Yamato**のプレゼンスをアピールできたと感じています。この度のPMMIにおける展示でも多くの皆様に高い評価を頂き、本当に有難い限りです。



PMMIはラスベガスとシカゴで一年毎に交互に開催されます。一般的な特徴として、シカゴ開催では学生の方や一般参加のご来場が多いのに対し、ラスベガス開催では各企業の購買御担当者様が多く来場されます。その意味においても、**Yamato**がこの度の展示会で大手企業様を含む多くのお客様にご訪問頂いた事は非常にありがたく、そういったお客様のご期待に応えるべく、スタッフ一同身が引き締まる思いで日々業務に取り組んでおります。当社はまだまだ発展途上の企業でございますが、先端を行く独自の開発技術と製品の品質に大いに誇りを持ち、これからも**Yamato**をご愛顧くださるお客様に喜んで頂ける製品作りに励んでまいります。皆様には今後ともご支援を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

信頼・技術・創造
ヤマト 大和製衡株式会社

URL : <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社営業 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
普通はかり営業課 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
東日本支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号
中日本支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号
札幌営業所 〒062-0052 札幌市中央区南二条東1丁目1番地14
千葉営業所 〒264-0025 千葉市若葉区都賀4丁目8番18号
九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号

TEL.078-918-5555
TEL.078-918-6540
TEL.03-5776-3121
住友生命浜松町ビル4階
朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL.052-238-5730
住友生命札幌中央ビル8階 TEL.011-219-8355
ショー・エム都賀1階 TEL.043-214-3920
博多エイトビル1階 TEL.092-471-1921



本カタログは環境に配慮し、植物性大豆油インキを使用しています。



2008年1月発行 08011200 IK